

# 「県内内陸地区及び県外へ移動している被災者へのアンケート調査」結果

## I 調査について

### 1 目的

東日本大震災津波により県内内陸地区・県外に移動している被災者の方々の現在の状況、今の生活における不安、今後の居住場所の意向や情報ニーズ等を把握するとともに、併せて「みなし仮設住宅」の供与期間終了後の住まいの意向について把握することにより、被災者支援の充実を図る。

### 2 調査の概要

- (1) 調査対象 県内内陸地区へ移動している1,436世帯、県外へ移動している714世帯、計2,150世帯  
※ 県からの郵送物の送付を希望している全世帯
- (2) 調査方法 郵送法（郵送による発送、返信用封筒による返送）
- (3) 調査期間 平成27年8月～平成27年9月
- (4) 調査項目 現在の住居の形態と『みなし仮設住宅』居住者における供与期間終了後の意向／住民票異動の有無とその理由／今後の居住場所／今後の生活の予定を考えるに当たっての支障／情報提供ニーズ／相談会や交流会のニーズ／自由意見
- (5) 回収結果
- |         |                  |                                    |
|---------|------------------|------------------------------------|
| 内陸地区移動者 | 821件（回収率57.2%）   | 【参考H26】 内陸地区移動者 671件<br>県外移動者 185件 |
| 県外移動者   | 298件（回収率41.7%）   |                                    |
| 計       | 1,119件（回収率52.0%） |                                    |

◆本調査は、平成24年度より年1回行っており、今年度で4回目。（平成26年度から全数調査。平成24～平成25年度は内陸地区・県外それぞれ300世帯を抽出）

#### 【留意事項】

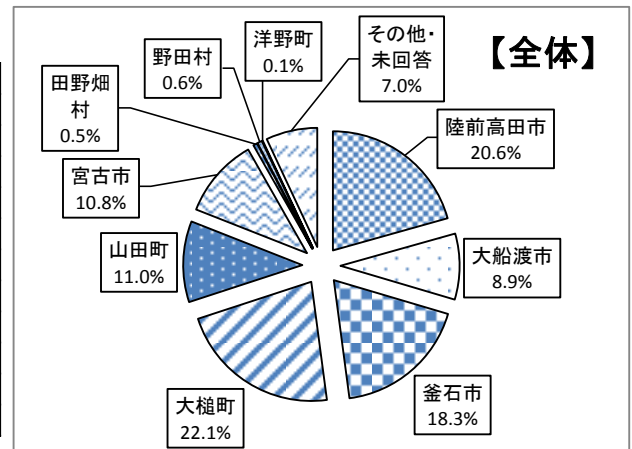
- 割合は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
- 一つの質問で回答が複数ある場合、回答率が100%を超える場合があります。
- 図表等で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合があります。

## II 調査結果について

### 1 回答者の世帯の属性及び現在の状況

#### (1) 被災時の居住地

市町村別	【内陸地区】		【県外】	
	回答数	割合	回答数	割合
陸前高田市	165	20.1%	66	22.1%
大船渡市	65	7.9%	35	11.7%
釜石市	151	18.4%	54	18.1%
大槌町	184	22.4%	63	21.1%
山田町	95	11.6%	28	9.4%
宮古市	90	11.0%	31	10.4%
田野畑村	3	0.4%	3	1.0%
野田村	3	0.4%	4	1.3%
洋野町	0	0.0%	1	0.3%
その他・未回答	65	7.9%	13	4.3%
計	821	100.0%	298	100.0%



#### (2) 現在の居住地

##### 【内陸地区】

地域	回答数	割合
盛岡市	272	33.1%
一関市	109	13.3%
北上市	90	11.0%
花巻市	80	9.7%
奥州市	49	6.0%
遠野市	44	5.4%
滝沢市	38	4.6%
紫波町	34	4.1%
矢巾町	21	2.6%
住田町	13	1.6%
その他・未回答	71	8.6%
計	821	100.0%

##### 【県外】

地域	回答数	割合
北海道・東北	94	31.5%
関東	144	48.3%
中部	19	6.4%
近畿	18	6.0%
中国・四国	9	3.0%
九州・沖縄	8	2.7%
未回答	6	2.0%
計	298	100.0%

(3) - 1 主たる生計維持者の年齢

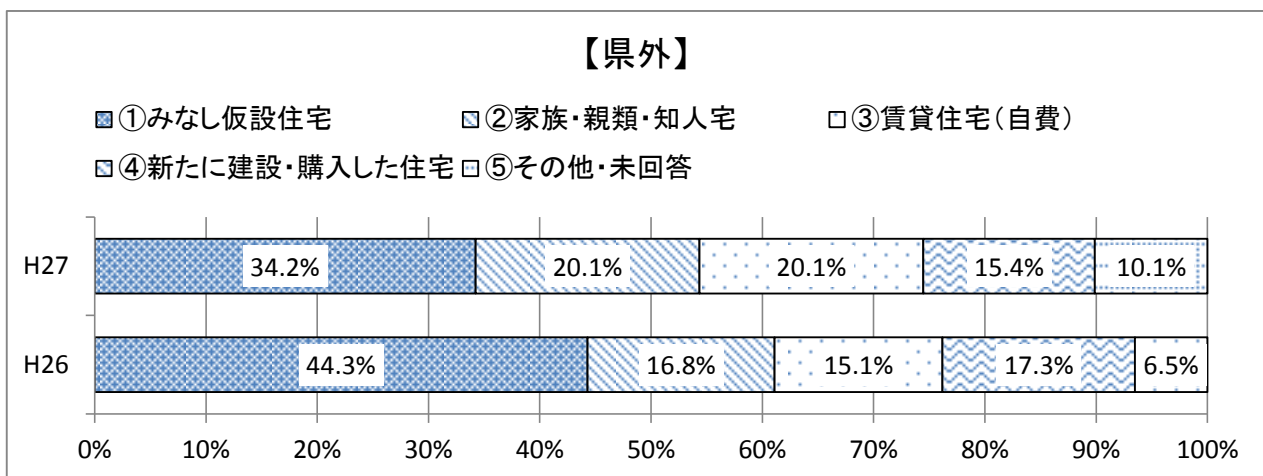
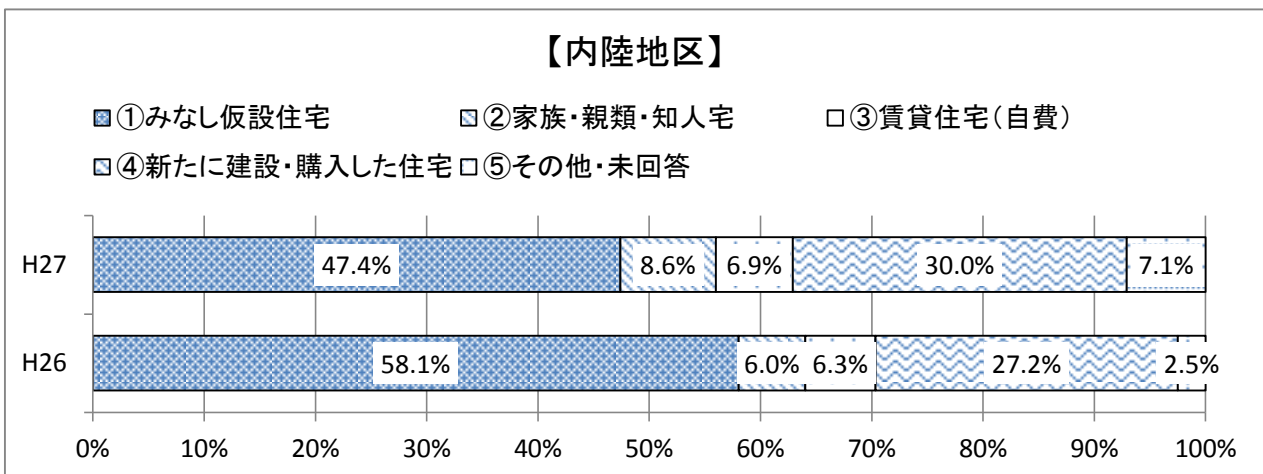
	【内陸地区】		【県外】		【合計】	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
29歳以下	13	1.6%	5	1.7%	18	1.6%
30代	58	7.1%	21	7.0%	79	7.1%
40代	109	13.3%	36	12.1%	145	13.0%
50歳～64歳以下	211	25.7%	72	24.2%	283	25.3%
65歳以上	428	52.1%	163	54.7%	591	52.8%
未回答	2	0.2%	1	0.3%	3	0.3%
計	821	100.0%	298	100.0%	1,119	100.0%

(3) - 2 主たる生計維持者の性別

	【内陸地区】		【県外】		【合計】	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
男性	552	67.2%	156	52.3%	708	63.3%
女性	262	31.9%	141	47.3%	403	36.0%
未回答	7	0.9%	1	0.3%	8	0.7%
計	821	100.0%	298	100.0%	1,119	100.0%

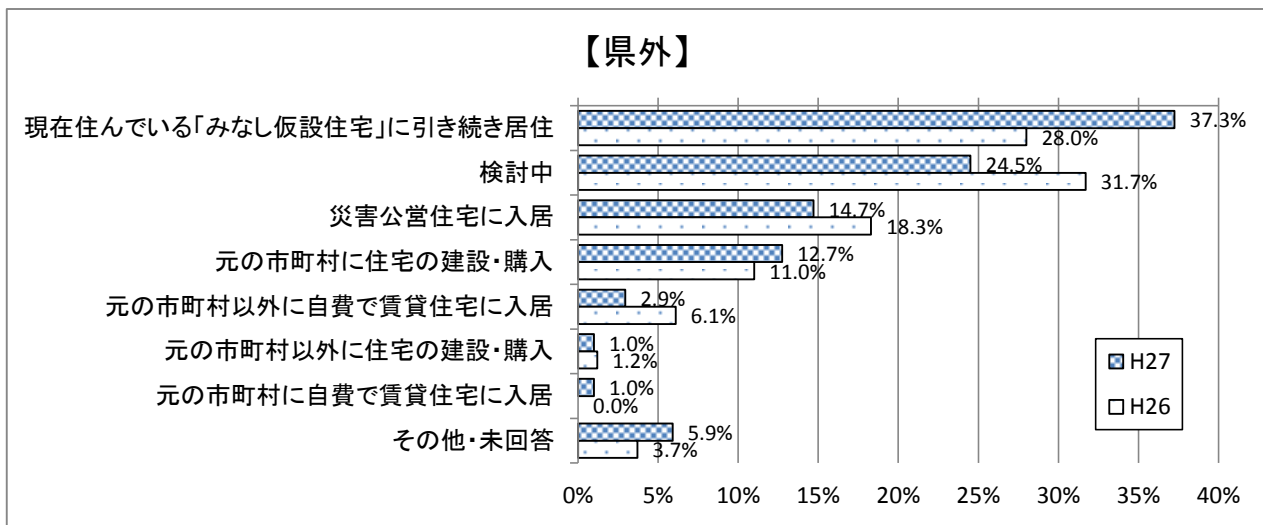
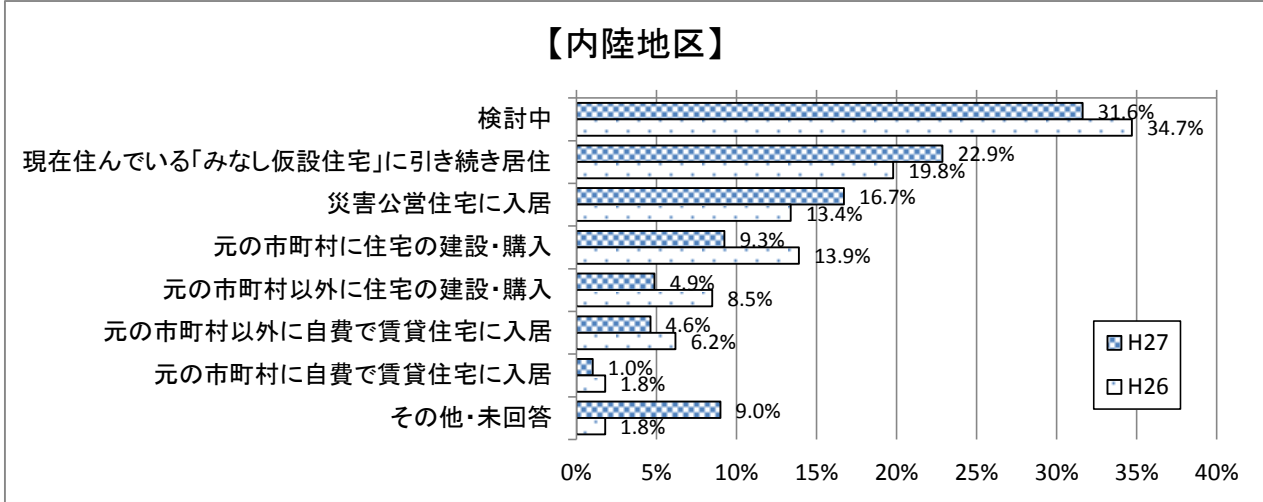
(4) - 1 現在の住居の形態

内陸地区・県外ともに、「みなし仮設住宅」（自己負担がない都道府県民間賃貸借上げ住宅及び雇用促進住宅・公営住宅等の総称）の割合（内陸地区47.4%、県外34.2%）が最も高い。次いで、内陸地区では、「新たに建設・購入した住宅」（30.0%）、「家族・親類・知人宅」（8.6%）、の順に高く、県外では「家族・親類・知人宅」（20.1%）、「賃貸住宅（自費）」（20.1%）、の順に高くなっている。内陸地区、県外ともに、「みなし仮設住宅」は、前回調査と比較してそれぞれ（内陸10.7%、県外10.1%）減少している。

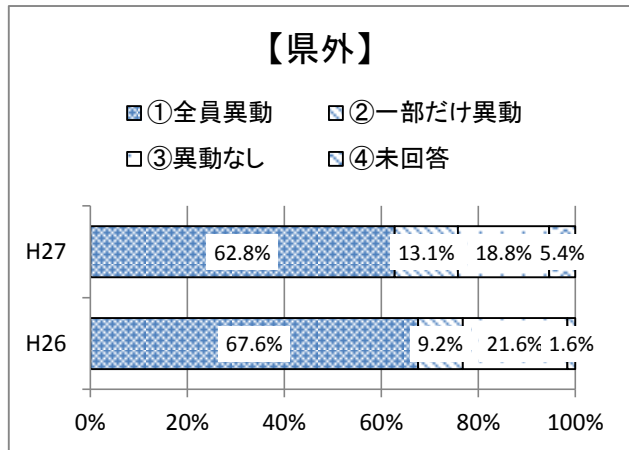
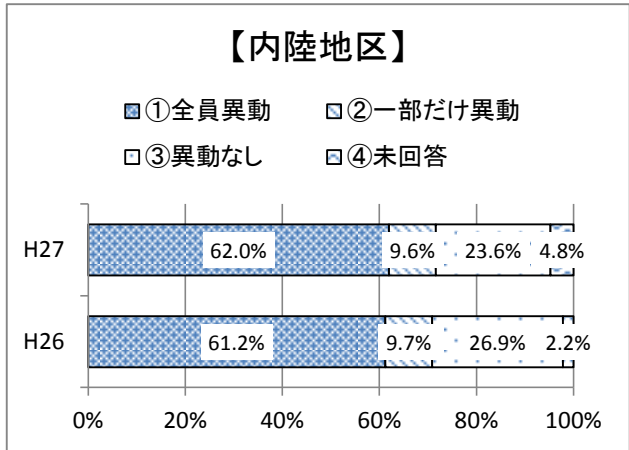


(4) - 2 「みなし仮設住宅」居住者の供与期間終了後の意向

内陸地区では、「検討中」(31.6%)、「供与期間が終了した後も、現在住んでいる『みなし仮設住宅』に引き続き居住したい」(22.9%)、「災害公営住宅に入居」(16.7%)の順に高くなっている。  
 県外では、「現在住んでいる『みなし仮設住宅』に引き続き居住したい」(37.3%)、「検討中」(24.5%)、「災害公営住宅に入居」(14.7%)となっている。  
 内陸地区、県外ともに、「検討中」は前回調査と比較してそれぞれ(内陸3.1%、県外7.2%)減少し、「供与期間が終了した後も、現在住んでいる『みなし仮設住宅』に引き続き居住したい」がそれぞれ(内陸3.1%、県外9.3%)増加している。

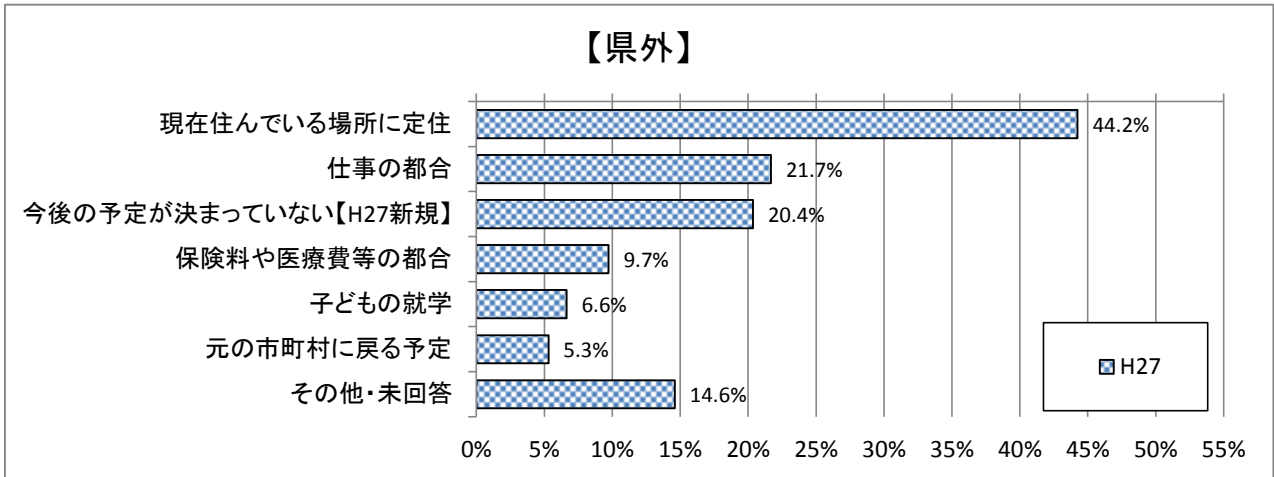
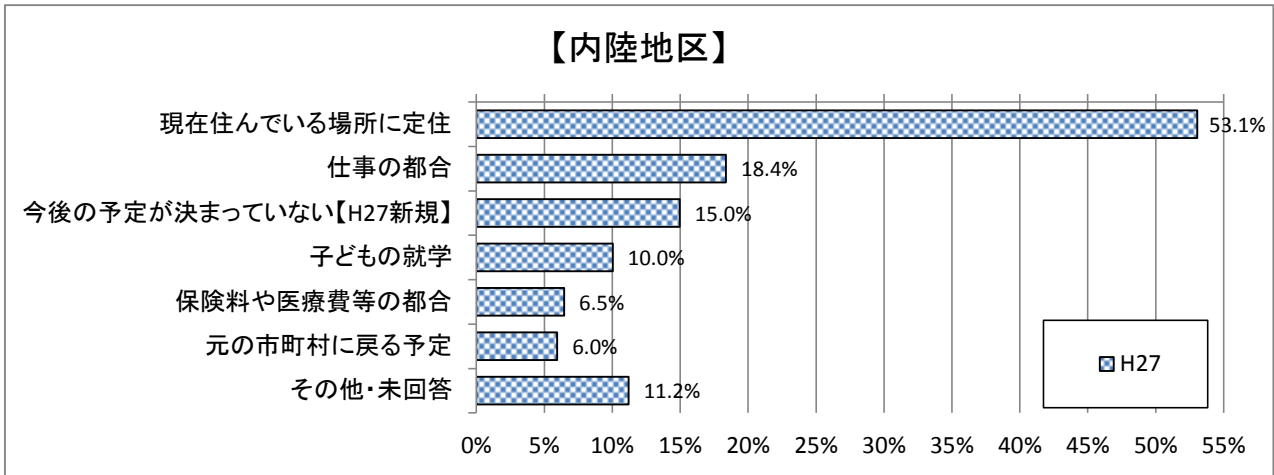


(5) - 1 住民票の異動の有無

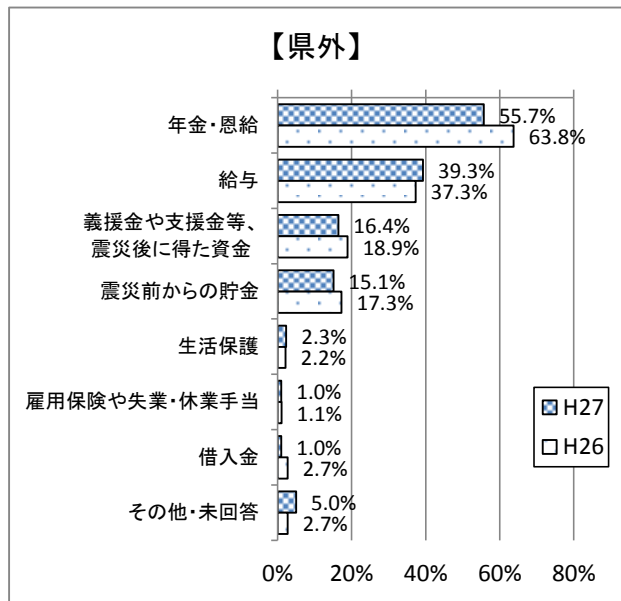
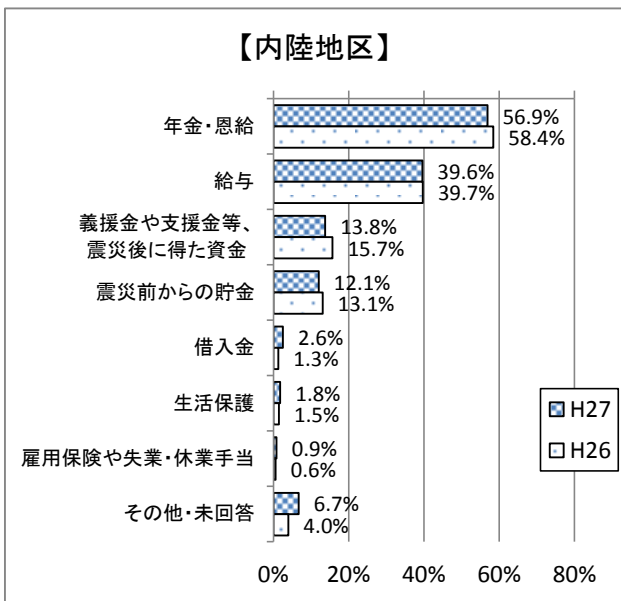


(5) - 2 住民票を異動した理由 (複数回答)

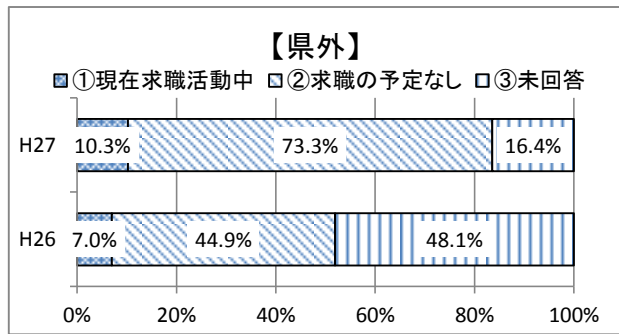
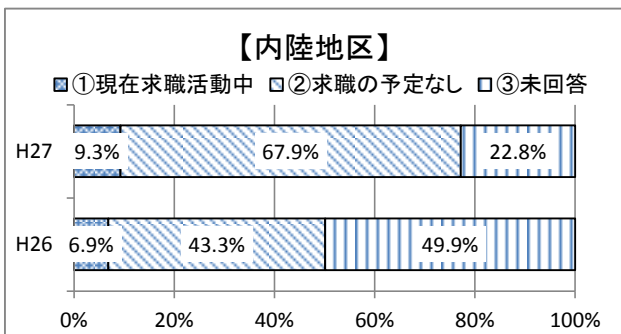
内陸地区・県外ともに、「現在住んでいる場所に定住することを決めたため」(内陸地区53.1%、県外44.2%)、「仕事の都合」(内陸地区18.4%、県外21.7%)が多い。



(6) 現在の主な生活資金 (2つまで)



### (7)-1 非就労世帯主世帯の求職状況



### (7)-2 求職予定のない理由

内陸地区・県外ともに、「高齢のため」(内陸地区80.6%、県外79.7%)が約8割、次いで「健康上の理由」(内陸地区13.7%、県外9.1%)となっており、前回調査とほぼ同様の傾向となっている。

**【内陸地区】**

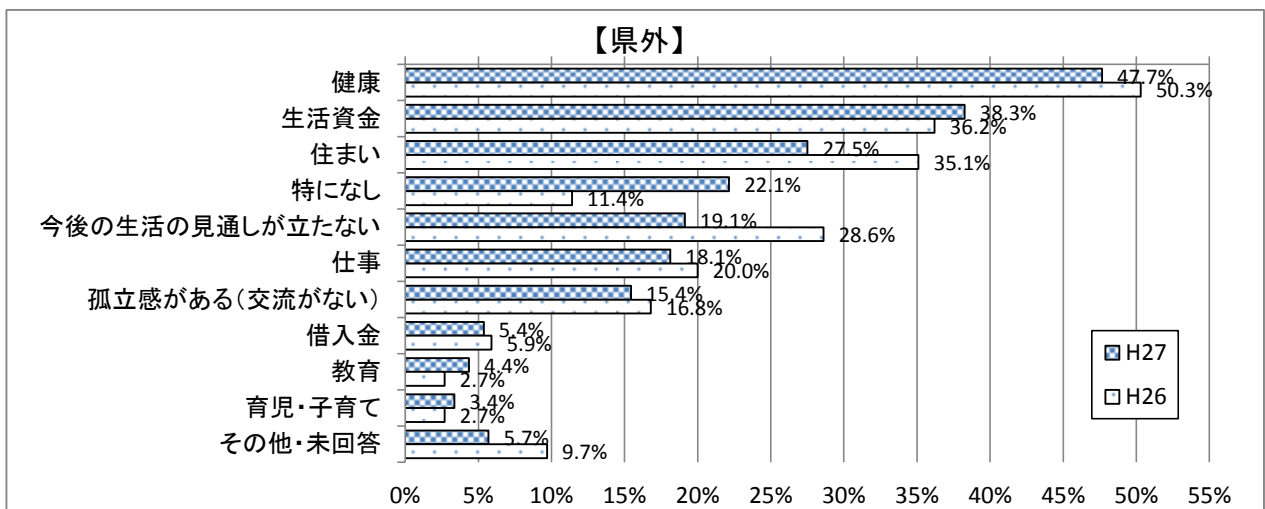
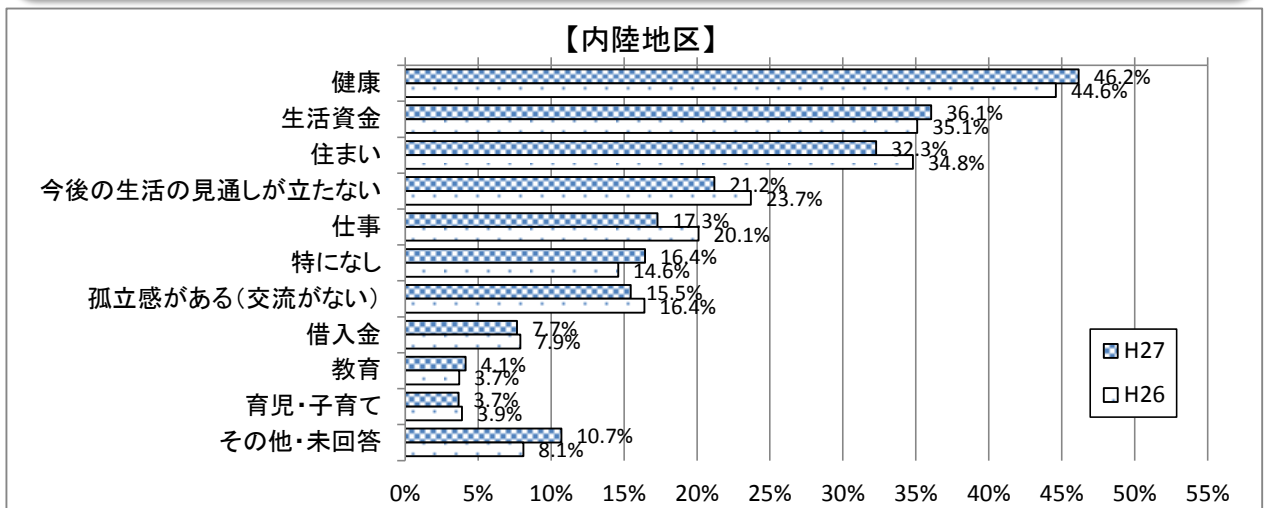
	H27	H26
高齢	80.6%	81.0%
健康上	13.7%	13.4%
希望する職がない	1.1%	1.0%
元の市町村で働きたい	0.6%	1.0%
その他・未回答	4.0%	3.4%
計	100.0%	100.0%

**【県外】**

	H27	H26
高齢	79.7%	81.9%
健康上	9.1%	10.8%
希望する職がない	1.4%	1.2%
元の市町村で働きたい	0.0%	1.2%
その他・未回答	9.8%	4.8%
計	100.0%	100.0%

### (8) 困りごと、不安なこと (複数回答)

内陸地区・県外ともに、「健康」(内陸地区46.2%、県外47.7%)、「生活資金」(内陸地区36.1%、県外38.3%)、「住まい」(内陸地区32.3%、県外27.5%)の順に高くなっている。内陸地区は前回調査とほぼ同様の傾向であるが、県外では「住まい」(7.6%減)、「今後の生活の見通しが立たない」(9.5%減)が減少し、「特になし」(10.7%増)が増加している。



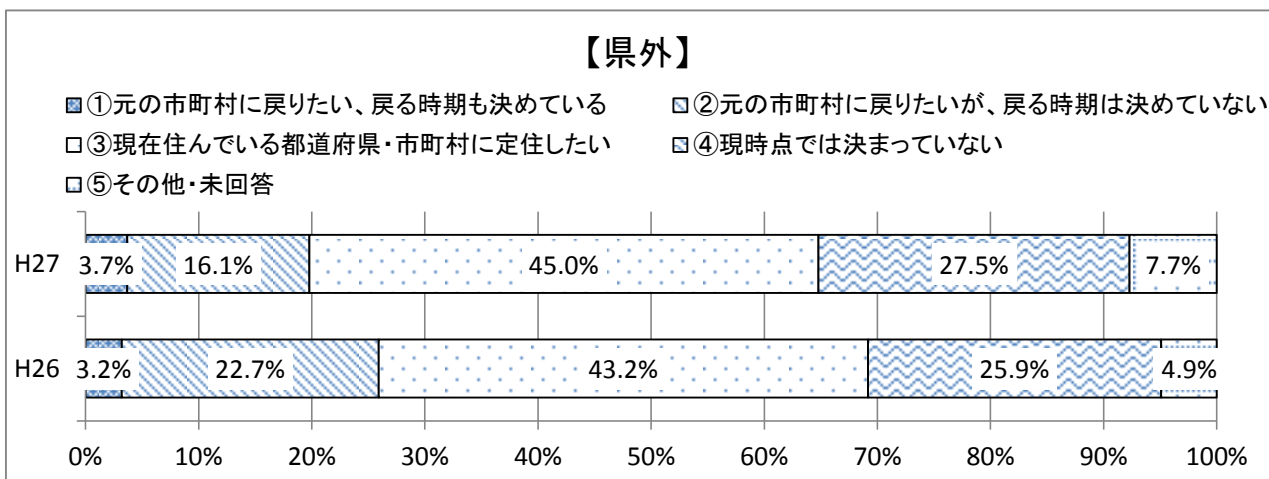
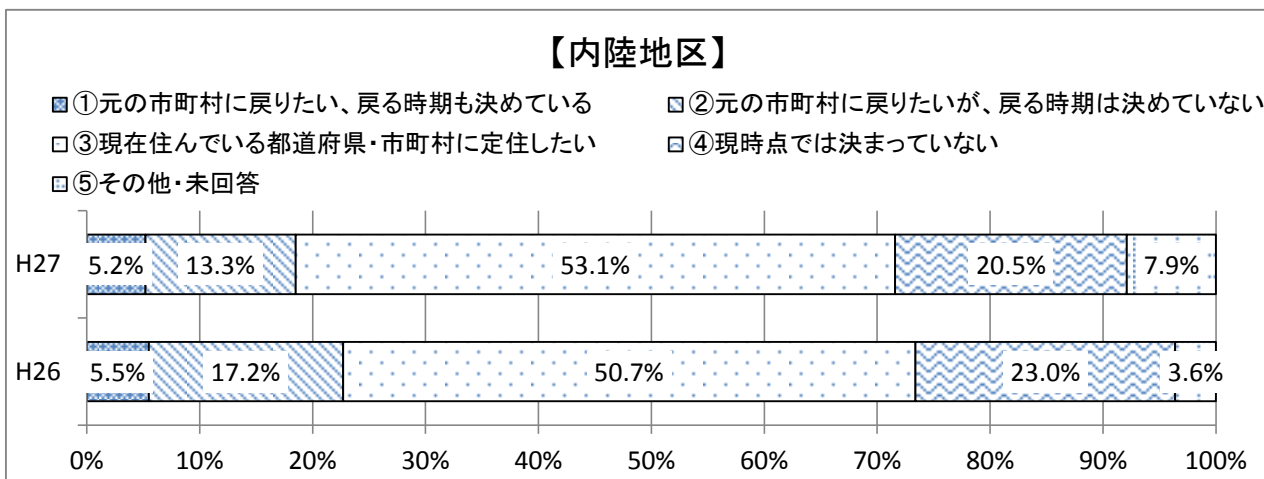
## 2 今後の生活の予定

### (1) - 1 今後の居住場所の意向

「元の市町村に戻りたい(時期も決めている・時期は決めていない)」の割合は、内陸地区では18.5% (4.2%減)、県外では19.8%(6.1%減)となっている。

「現在の都道府県・市町村に定住したい」の割合は、内陸地区53.1%(2.4%増)、県外では45.0%(1.8%増)となっている。

「現時点では決まっていない」の割合は、内陸地区が20.5%(2.5%減)、県外が27.5%(1.6%増)となっている。

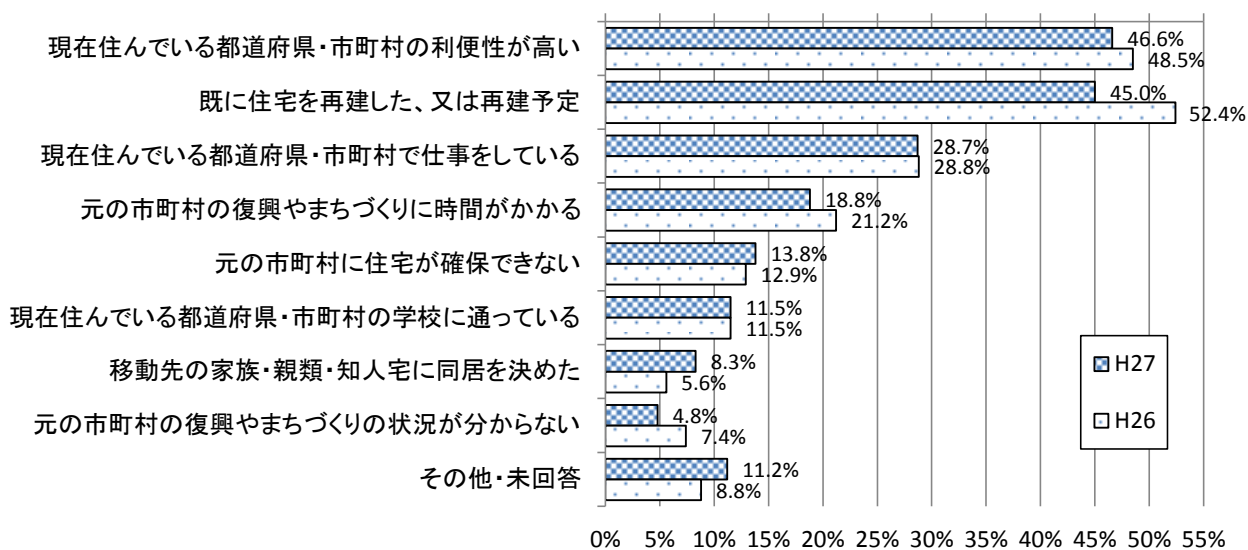


(1) - 2 「現在住んでいる都道府県・市町村に定住したい」理由（複数回答）

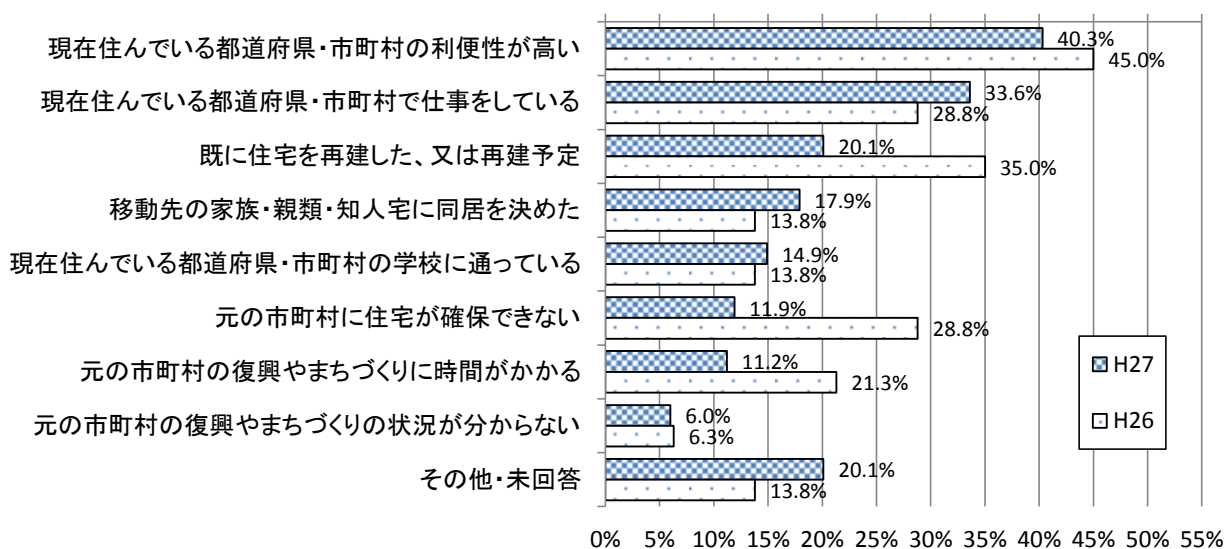
内陸地区では、「現在住んでいる都道府県・市町村の利便性が高い」(46.6%)、「既に住宅を再建(購入・賃貸含む)した又は再建予定(購入・賃貸含む)だから」(45.0%)、「家族(又は自分)が現在住んでいる(又は近くの)都道府県・市町村で仕事をしているから」(28.7%)、「震災前に住んでいた市町村の復興やまちづくりに時間がかかるから」(18.8%)、の順に高くなっている。

県外では、「現在住んでいる都道府県・市町村の利便性が高い」(40.3%)、「家族(又は自分)が現在住んでいる(又は近くの)都道府県・市町村で仕事をしているから」(33.6%)、「既に住宅を再建(購入・賃貸含む)した又は再建予定(購入・賃貸含む)だから」(20.1%)、「異動先の家族・親類・知人宅に同居を決めたから」(17.9%)、の順に高くなっている。

【内陸地区】

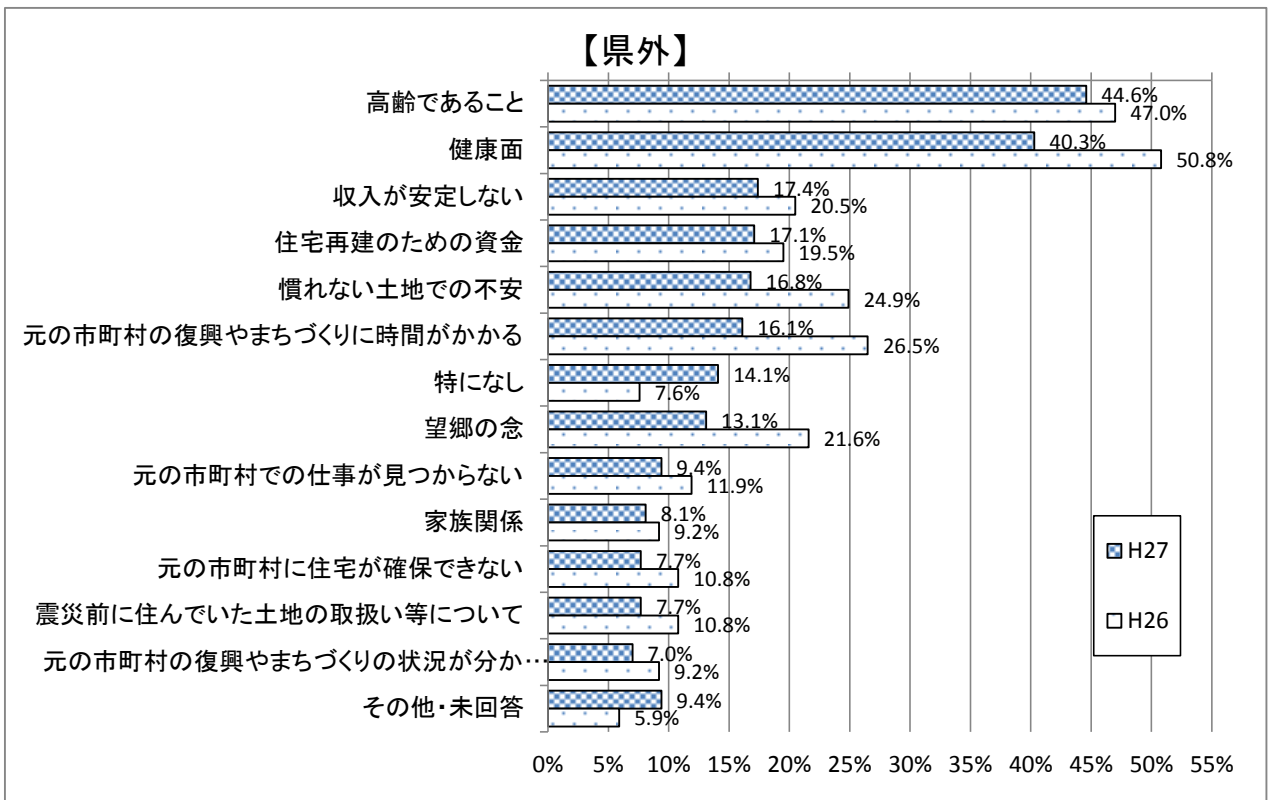
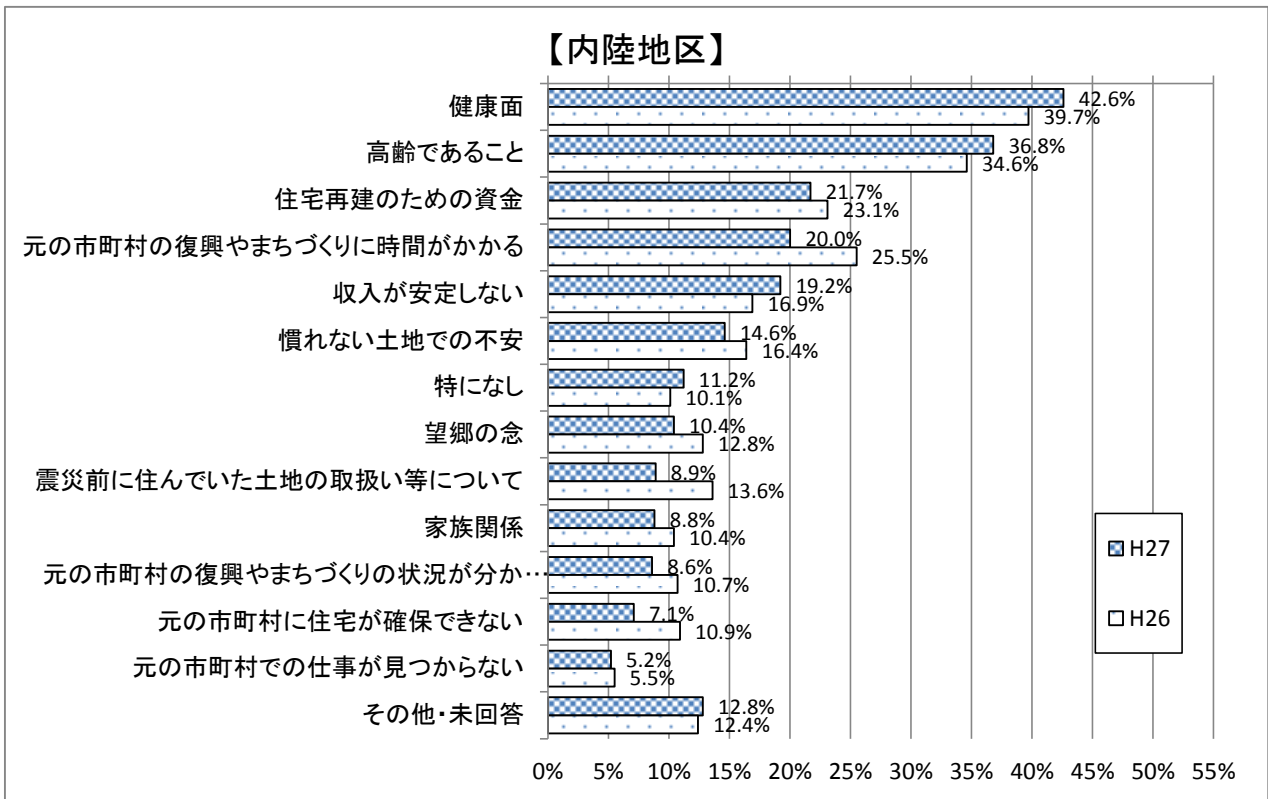


【県外】



(2) 今後の生活の予定を考えるに当たっての支障（複数回答）

内陸地区では、「健康面」(42.6%)、「高齢であること」(36.8%)、「住宅再建のための資金」(21.7%)、「元の市町村の復興やまちづくりに時間がかかる」(20.0%)、の順に高くなっている。  
 県外では、「高齢であること」(44.6%)、「健康面」(40.3%)、「収入が安定しない」(17.4%)、「住宅再建のための資金」(17.1%)、の順に高くなっている。





### 3 情報提供について

#### (1) 震災前に住んでいた市町村から提供されている情報（複数回答）

##### 【内陸地区】

	H27	H26
市町村の広報誌	60.7%	72.2%
まちづくりや復興の情報	43.6%	46.9%
被災された方への支援の情報	29.0%	27.8%
情報が提供されていない	13.3%	7.6%
その他・未回答	8.1%	6.9%

##### 【県外】

	H27	H26
市町村の広報誌	68.1%	77.8%
まちづくりや復興の情報	56.7%	62.7%
被災された方への支援の情報	35.9%	35.1%
情報が提供されていない	9.1%	6.5%
その他・未回答	7.7%	3.2%

#### (2) 居住している都道府県・市町村から提供されている情報（複数回答）

##### 【内陸地区】

	H27	H26
現在お住まいの都道府県・市町村の広報誌	79.4%	83.1%
被災された方への支援の情報	64.8%	60.6%
生活に関する行政の情報	38.0%	36.6%
情報が提供されていない	3.4%	1.8%
その他・未回答	5.7%	5.1%

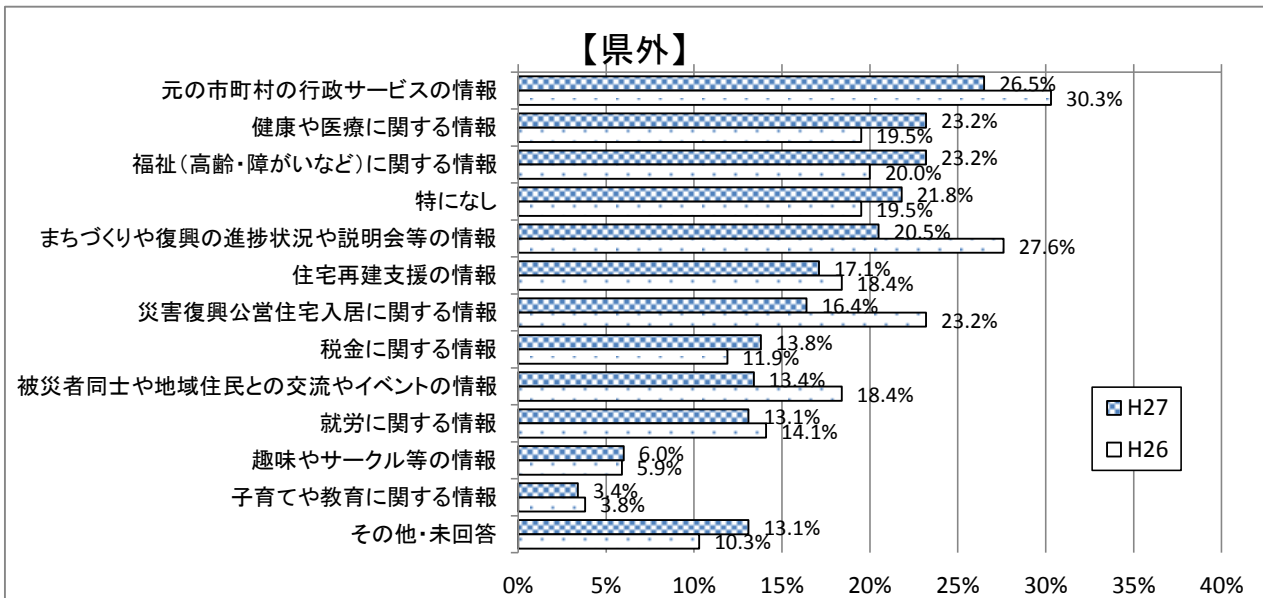
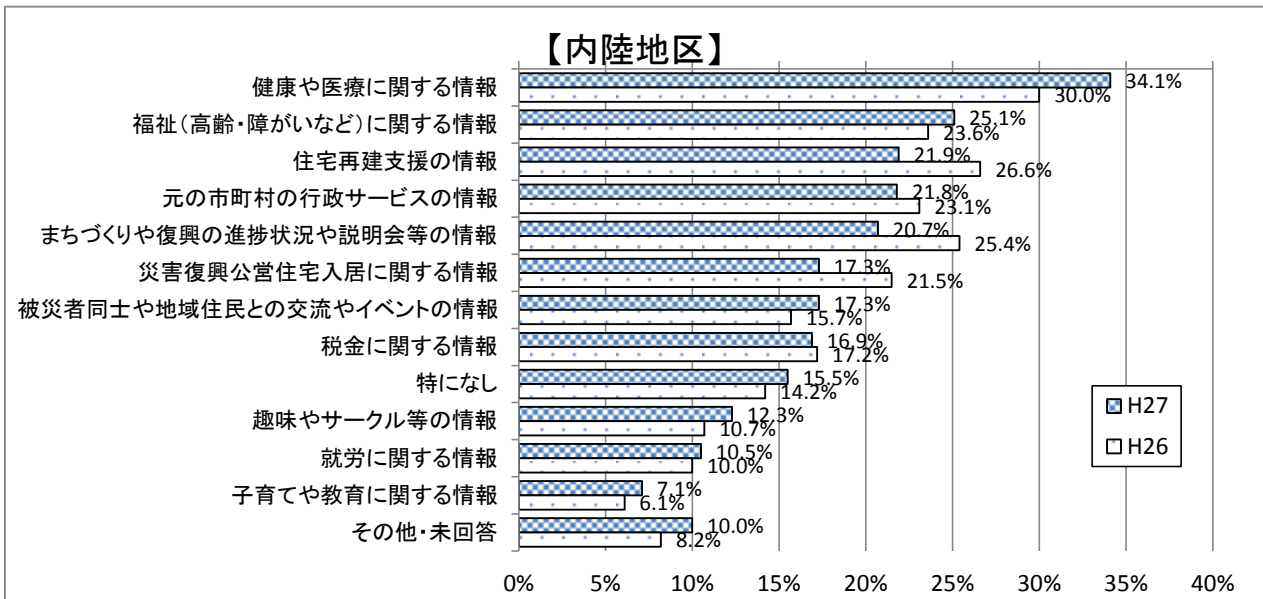
##### 【県外】

	H27	H26
現在お住まいの都道府県・市町村の広報誌	67.1%	68.6%
被災された方への支援の情報	45.3%	54.1%
生活に関する行政の情報	28.9%	29.7%
情報が提供されていない	12.1%	11.4%
その他・未回答	9.1%	3.8%

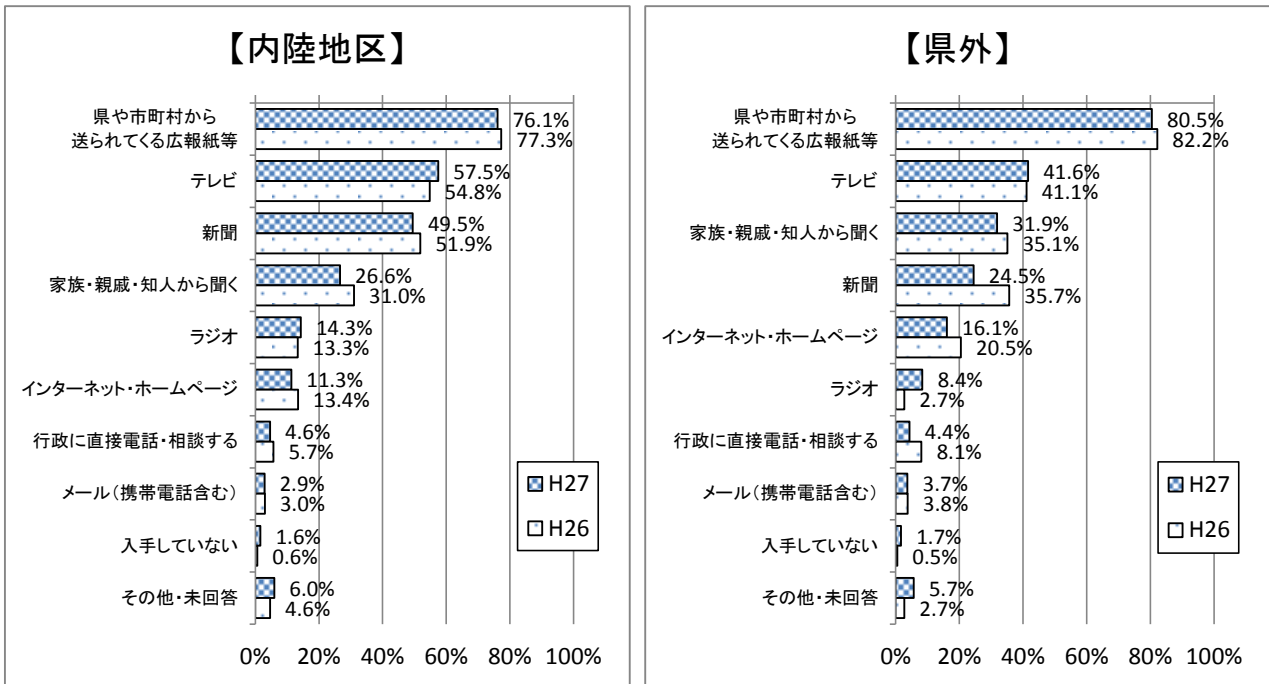
#### (3) 希望する情報（複数回答）

内陸地区では、「健康や医療に関する情報」(34.1%)、「福祉(高齢・障がいなど)に関する情報」(25.1%)、「住宅再建支援の情報」(21.9%)の順に高くなっている。

県外では、「震災前に住んでいた市町村の行政サービスの情報」(26.5%)、「健康や医療に関する情報」(23.2%)、「福祉(高齢・障がいなど)に関する情報」(23.2%)の順に高くなっている。



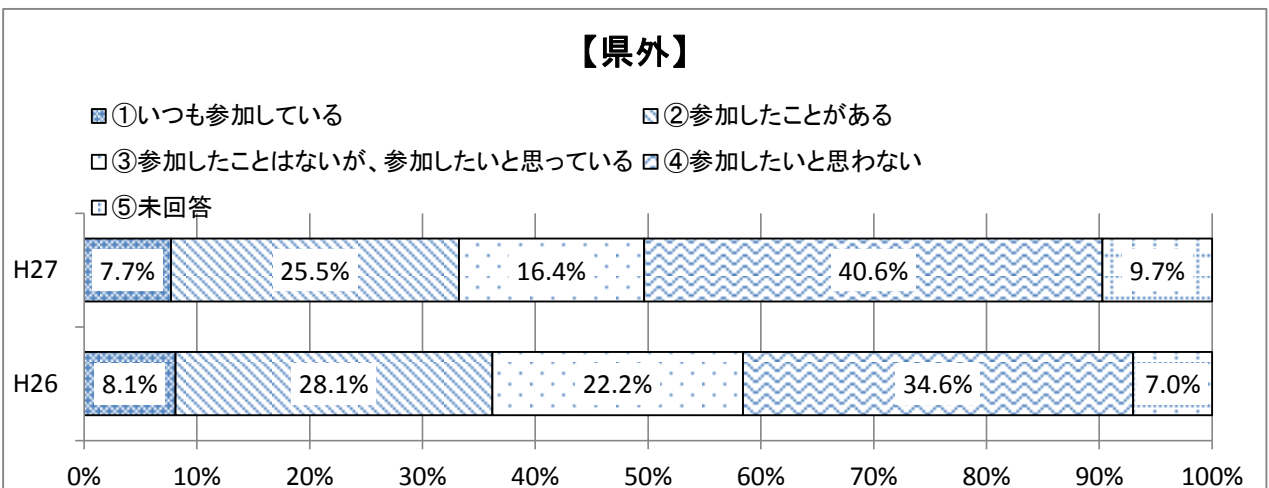
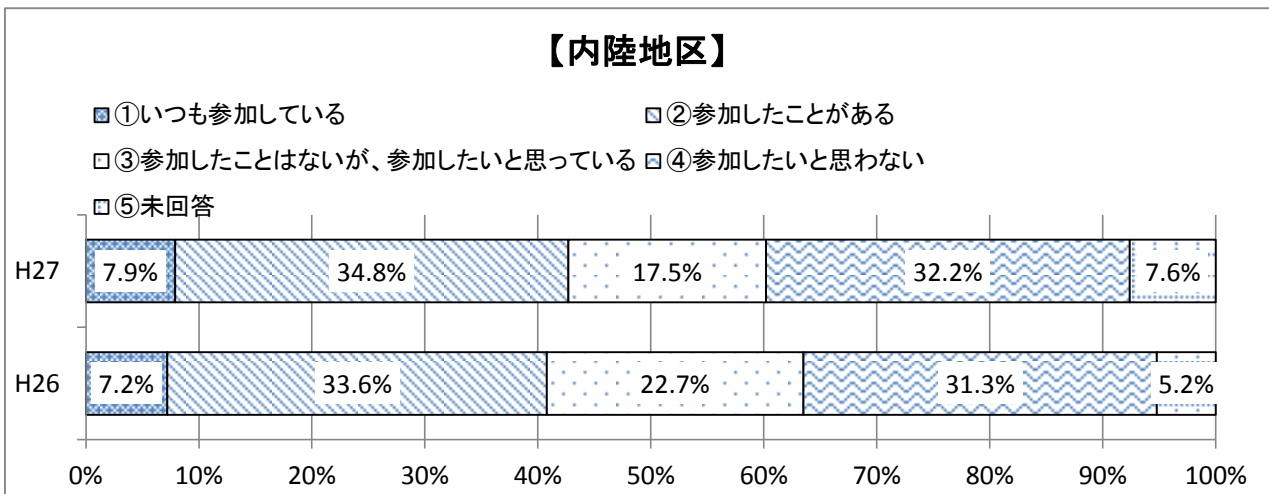
(4) 復興や支援に関する情報の入手方法 (複数回答)



4 交流会や相談会について

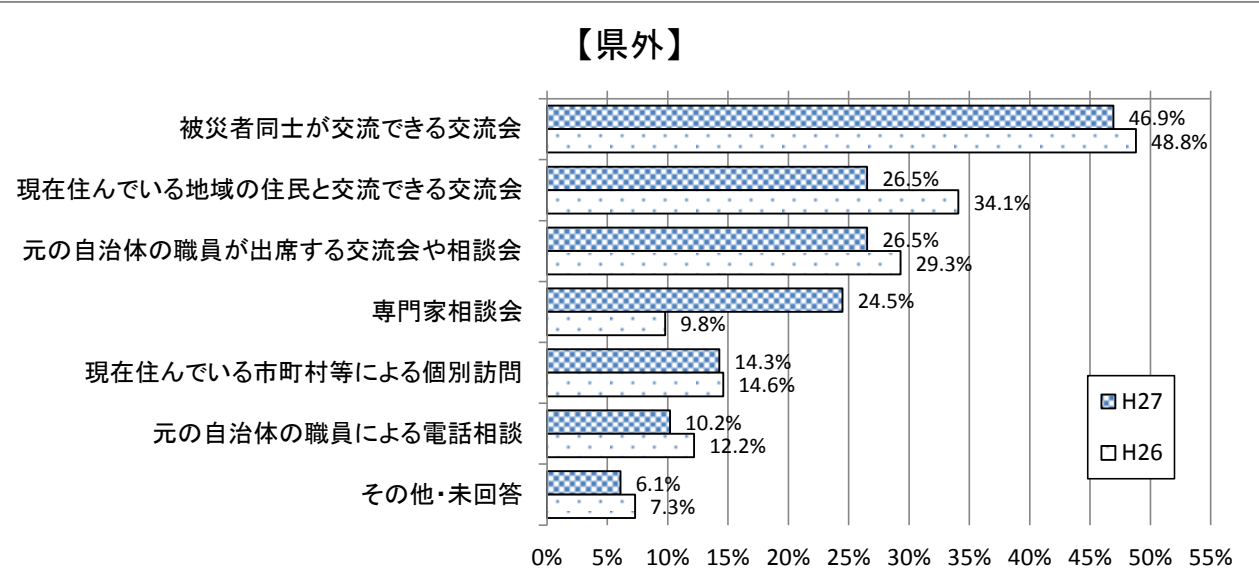
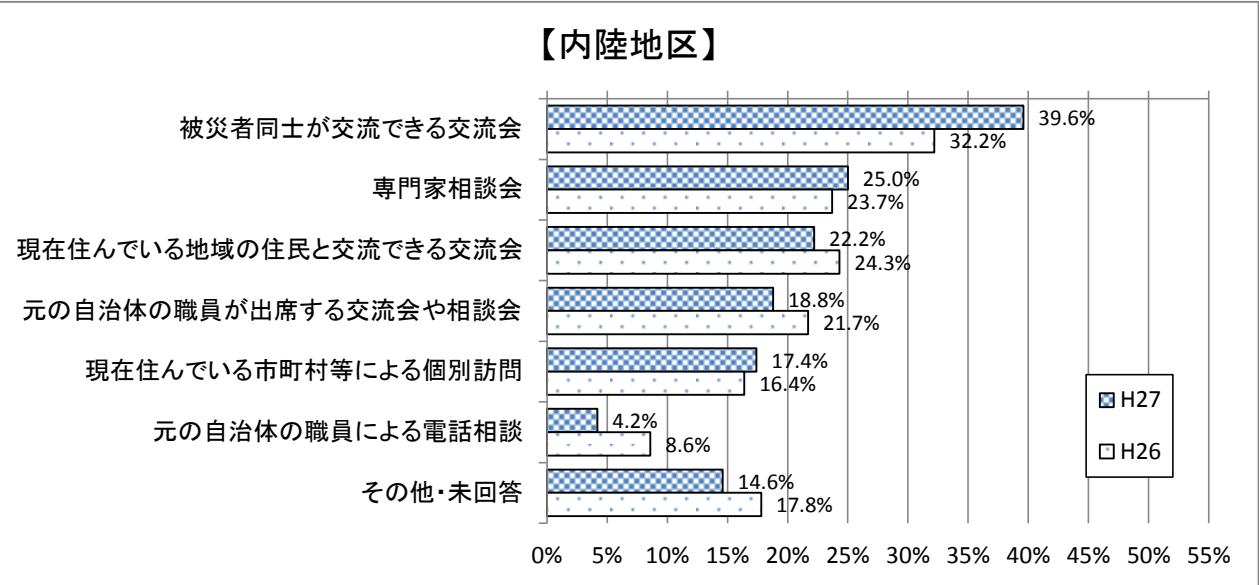
(1) - 1 交流会・相談会への参加状況

「参加している(いつも参加・参加したことがある)」の割合は、内陸地区では42.7%、県外では33.2%となっており、「参加したいと思わない」の割合は、内陸地区では32.2%、県外では40.6%となっている。県外に比べ、内陸地区の方が交流会・相談会への参加は高くなっている。



(1) - 2 参加したい交流会・相談会の内容（複数回答）

内陸地区では、「被災者同士が交流できる交流会」(39.6%)、「専門家(弁護士、司法書士やファイナンシャル・プランナーなど)の相談会」(25.0%)、「現在お住まいの地域の住民と交流できる交流会」(22.2%)、の順に高くなっている。  
 県外では、「被災者同士が交流できる交流会」(46.9%)、「現在お住まいの地域の住民と交流できる交流会」(26.5%)、「震災前に住んでいた自治体の職員が出席する交流会や相談会」(26.5%)、の順に高くなっている。  
 内陸地区・県外とも、「被災者同士が交流できる交流会」の割合が最も高い。



5 自由意見（主なもの）

(2)内陸地区

分類	要 旨
みなし仮設住宅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在住んでいる仮設住宅ですが5年間も住むと利便性が高くなっています。また、現在の市にも慣れ多くの人達と交流も出来ています。ただ、心配なのは今後みなし仮設住宅がどのようになるのかですが、安く入居が出来るよう希望しています。よろしくお願い致します。</li> <li>・独り生活の高齢者です。娘が東京より時々来てくれますので、駅に近い現在のアパートにみなし期間終了後も引き続き居住したいので、公営住宅の申込みの事もありますので住めるか不可か早く確認出来ないものかと思っております。</li> </ul>
災害公営住宅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内陸に災害公営住宅を建てて欲しい。保証人の制度をなくして欲しい。現在のみなし仮設を災害公営住宅として安い家賃で補助して欲しい。</li> <li>・内陸に災害公営住宅を検討するらしいのですが、早く決めて欲しいです。盛岡、花巻、北上に是非災害公営住宅などを作っていただきたいです。</li> </ul>
住宅再建	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被災の地域に住宅再建する予定であります。消費税率のアップ並び円安により建築代が高騰したとのことです。従いまして当初建築見込みより二割以上の資金需要となり、資金不足で困っておる現状です。追加支援の支給こそ早期復興であり手厚い政府の対応と思えます。</li> <li>・釜石市役所、盛岡市役所で住宅再建にあたり詳しい説明をしてくれたりする窓口が欲しい。</li> </ul>
支援関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢夫婦の年金生活者です。震災後に共に月1～2回通院しており、医療費免除で助かっております。今後も継続していただければ大変助かります。</li> <li>・住宅再建と支援金を利用して考えていたのに、土地の引渡し加算支援金の申請期限より後になる予定になっている。期限の延長を考慮してほしい。</li> <li>・震災前に住んでいた市町村に再建しないと支援策が満足にうけられないのはおかしすぎる。</li> </ul>
復興まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元での生活が便利になるような市の商店誘致など交通整備の計画が見えない。生活活性化を望む。</li> </ul>
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢の為、健康の不安が一杯です。どうしても引きこもりがちになります。いつも情報ありがとうございます。</li> <li>・住宅支援情報とか住宅のいろいろなサポートよろしくお願いします。</li> </ul>
移動先での生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盛岡に住んで2年あまりが過ぎましたが、最初は中古住宅でも購入しようと考えていました。思うようにはならず今は賃貸住宅に入居し、年金と貯金の取り崩しで生活しており、今後の生活に不安を感じています。</li> <li>・あれから5年いろいろな事がありましたが、今住んでいる場所での福祉の充実さを実感しておりこの地で再建して良かったと思う日々です。今住んでいる所とお墓が離れているのがつらく悲しいです。心が痛みます。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災時から現在まで長時間に渡り、各方面からいろいろな形で支援されたことに深く感謝しております。しかし、支援にだけ頼ることなく各々が自立心を持たなければと私は思います。</li> <li>・震災により転居、転職し大変な時期を乗り越え、やっと新しい環境に慣れてきました。時折前に住んでいた場所を訪れることがあります。復興により街が賑わう日を願うばかりです。</li> <li>・おかげさまで今年10月頃には災害公営住宅への入居が決まりそうです。やっと「ふるさと」へ帰れるようになり内心ホッとしております。</li> </ul>

## (1) 県外

分 類	要 旨
みなし仮設住宅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みなし仮設の供与期間は最大6年間に延長が決まっているとのことですが、仮設住宅から出れるようになるまで引き続き支援を継続してほしいところです。</li> <li>・今一番の悩みは、住んでいた市が復興するまでみなし仮設住宅の供与期間を延長してもらいたい事です。</li> </ul>
災害公営住宅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏に避難している岩手県出身者を盛岡市近郊の公営住宅に入居できる施策が必要だと思えます。人口減を防ぐようにするべきです。</li> <li>・災害公営住宅に入居するのに連帯保証人、なぜ必要なのでしょう。震災の時その市に住んでいたのに。又、若い方々は連帯保証人などお願いしたくないのでは。だからなかなか帰ってこないでしょう？</li> </ul>
住宅再建	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅再建をしたいと思っていますが、建築費のことなどを考えると年金生活の為ローンに組むことも出来ず費用が悩みです。</li> <li>・1番の不安は持ち家がないこと。早く自宅を持ち生活を安定させたいと思っているが震災前の支払い等が残っているため、その支払いをしながらなので未来のための資金作りがなかなか出来ない。いい方法があるのなら教えて欲しい。</li> </ul>
支援関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅再建がかさ上げ地ではH30年以降と言われた。国のいろいろの支援金が期限すぎた場合はどうなのか知りたい。固定資産税についても聞きたい。</li> <li>・岩手県では被災者に対して医療費の無料をしている様子ですが静岡県に有りません。私達も岩手県内で被災した(全壊した)者ですが、岩手県なみの医療費の無料を検討して頂けないでしょうか。</li> <li>・行政からの連絡や声かけがあると一人でないんだと元気づけられます。ありがとうございます。あの日から5年経っているのに不安感が少しも変わっておりません。どこに住んでもこの不安感を消すことは出来ないのではないかと思います。高齢なので私自身最期を考えて今動くべきではないと考え、子供と一緒に過ごすことにしようかと思っております。</li> </ul>
復興まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被災地の復興がなかなか進まないの今後の生活プランへの考え方がまとまらない。復興のスピード化具体性を早急に進めて欲しい。</li> </ul>
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被災後、住宅も建設場所もなくなり、失望していましたが、現在住んでいる市からの支援と被災元の市から広報等により復興の様子と支援があり有難く思っています。</li> </ul>
移動先での生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今春就職し生活も安定して参りました。今後は逆に支援できるよう頑張っていければと思っています。</li> <li>・高齢になり主人の実家のある県に移動してきました。不安ばかりの毎日でしたが、地域の方々、又震災のあった地元の友人、知人、親戚、久しく連絡を取ってなかった他県の友から勇気と優しさをもらい頑張ってきてます。皆に感謝の気持ちでいっぱいです。</li> <li>・現在施設にいてその中でリハビリ病院に通院しながら機能回復を行っていたが、結論は自分でも出せないでいる。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元に戻っても仕事があるかどうか不安です。</li> <li>・現在住んでいる場所での生活にも慣れ元気にしていますが故郷への思いは強く帰りたくなる日も多くあります。家屋全流出の為、宿もなかなかとれない中では希望通り帰省することも困難です。元気なうちに復興でき母の帰りたいたい気持ちに応えられたら良いなと思っています。</li> <li>・それぞれの分野で皆さん頑張っている事には頭が下がります。一日でも早く皆さんが普通の生活、自然に毎日が過ごせる様になる事を祈ります。</li> </ul>

平成27年  
「県内内陸地区及び県外へ移動している  
被災者へのアンケート調査」  
結果報告書  
(平成27年11月)

発行

平成27年11月20日

岩手県

復興局 生活再建課

〒020-8570

岩手県盛岡市内丸10-1

電話 (019)-629-6926

ホームページ <http://www.pref.iwate.jp/saiken/jouhou/18235/028956.html>